

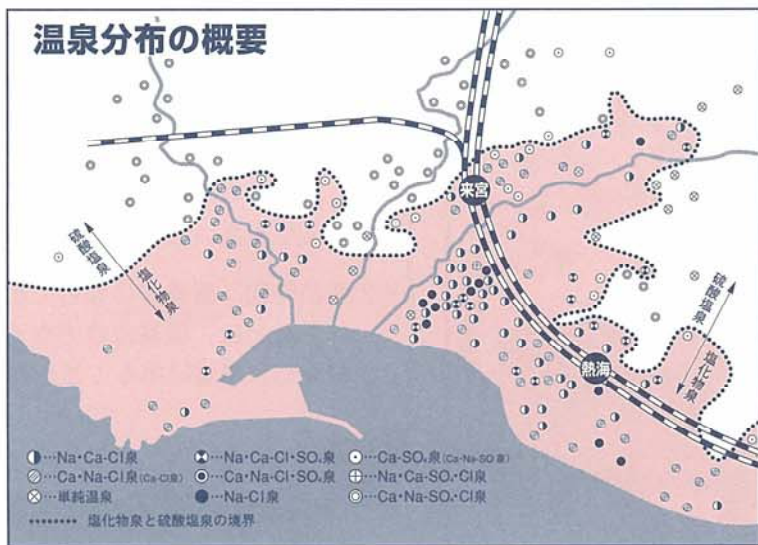
熱海の温泉

熱海温泉組合 TEL 0557-81-2324 FAX 0557-83-7556

熱海温泉の特徴 ご婦人も注目の美肌と痩身効果

塩化物温泉と硫酸塩温泉で約9割を占める熱海温泉は、その知名度に恥じない総湧出量約18,000ℓ/分という、全国9位(平成15年度日本温泉協会調べ)の温泉郷です。また、42℃以上の高温泉が利用泉の約9割という、全国有数(同調べで4位)の高温泉地域と言え、平均温度は約62℃と、源泉数が数百を数える温泉場としては非常に高い数値を誇っています。

浴用についても、塩分が皮膚を覆い保温効果にすぐれるので、神経痛をはじめ、冷え性、慢性婦人病などに適しています。さらに、市内の源泉のほとんどが肌にやさしい弱アルカリ性のため、湯のあたりがとてもやわらかいのが特徴です。最近では肌をひきしめ、痩身効果も期待できると言われ、ナトリウムとカルシウムが多量に含まれているので美肌効果も実感できるはず。熱海という男性専科のイメージが強いかもしれませんが、実はご婦人にも大注目の温泉場だったのです。



熱海の四大温泉

熱海温泉

国際観光温泉文化都市。設備充実の大ホテルから山間の湯宿まで旅の選択肢は全国屈指。街での食べ歩きも楽しい。

伊豆湯河原温泉(泉地区)

箱根外輪山から流れ出した藤木川(下流千歳川)沿いに発達し、落ち着いた旅館が建ち並んでいます。

伊豆山温泉

古湯「走り湯」を中心に発展した歴史ある温泉場。相模湾をのぞむ風光明媚な土地に、名建築が数多く残されています。

南熱海温泉(多賀・網代地区)

江戸時代、港として栄えた網代を中心に、波静かで遠浅の海が続く海岸沿いの温泉郷です。

旅のお問い合わせは
熱海温泉 ☎0557-85-2222 伊豆山温泉 ☎0557-81-2631 網代温泉 ☎0557-68-0136
伊豆多賀温泉 ☎0557-67-0017 伊豆湯河原温泉 ☎0465-62-5135 初島 ☎0557-67-1400

熱海温泉郷の新しい案内人 熱海「温ジェルジェ」を紹介します

- 創設の目的 温泉と観光のエキスパートを多数誕生させること。熱海独自の温泉入浴指導員を育成し、健康と温泉による新しい熱海温泉郷の魅力創造につなげる。
- 創設年月日 平成17年9月22日
- 名称のいわれ 10名候補の中から選定。コンシェルジェを文字って、温泉について広く御案内する人という意味づけで「温ジェルジェ」と命名。
- 認定機関 特定非営利活動法人エイミック。(NPOエイミックは、熱海養生法の実践、湯まつりへの参加、各種観光団体との連携による熱海温泉の活性化、行政との連携を通じて熱海温泉の活性化と市民の健康づくりなど、幅広く活動しているボランティア団体です。理事長は熱海温泉組合学術顧問でもある内田實医師・温泉療法医)
- 認定対象者 静岡県「温泉マスター養成講座(入門講座)」受講修了者、及び普通救命講習(AED)修了者であり、NPOエイミックが主催する熱海「温ジェルジェ」養成講習会を受講することが条件。
- 講習会内容 「温泉と観光」、「熱海温泉郷のお土産」、「熱海温泉郷の観光名所」

「熱海温泉郷の特長」、「温泉地にふさわしい接客マナー」、「熱海流入浴養生法」の6講座5時間

●認定者数

平成18年3月3日現在、61名を認定。認定者には写真入りネームプレートを授与している。(ほかに内田氏と同じく温泉療法医や温泉利用指導者など、指導員級認定者約10名)



平成18年3月3日現在、認定者が在籍する施設等一覧

JRいでゆ荘、MOA瑞雲会館、あじろ戦舟ホテル、熱海温泉組合、熱海保養園、熱海電報局加入者ホーム、熱海後楽園ホテル、熱海シーサイド・スパ&リゾート、熱海玉の湯ホテル、熱海所記念病院、熱海ビレッジ、伊豆山温泉組合、伊豆山温泉ホテル水菓亭、オフィス森江、温泉総合サービス、貴一ホテル、(株)ソーエー、(株)涼々園、迎賓館桜花ひなもす亭、コマツゼネラルサービス、ジェック研修ホテル伊豆山、セーフティー温泉管理、セブンイレブン熱海咲見町店、セントラル歯科、ソフィア熱海ティラスマンション管理組合、ダイアパレス湯河原グランヒルズ1番館、月の湯熱海温泉ホテル、車庫リソートソフィア熱海ビューヒルズ、湯治館そよ風、ニューフジヤホテル、花の館染井、古屋旅館、ホテル池田、ホテル大野屋、ホテルサン三倶楽部、マリンヒルズ、メグミ薬局、(有)市川製茶工場、(有)桜商事、(有)やまき、湯宿みかんの木、横綱、レストランフルヤ 他

定期温泉実態調査 (平成18年2月調査時)

| 地区 | 源泉総数 | 調査利用泉 | 平均掘削深度 | 平均温度 | 平均湧出量 | 最高温度 | 最高湧出量 |
|-------|------|-------|--------|-------|----------|-------|----------|
| 熱海地区 | 344井 | 179井 | 415ℓ | 66.1℃ | 55.9ℓ/分 | 98.2℃ | 169.2ℓ/分 |
| 南熱海地区 | 60井 | 23井 | 747ℓ | 55.8℃ | 135.9ℓ/分 | 88.8℃ | 287.7ℓ/分 |
| 泉地区 | 34井 | 17井 | 625ℓ | 41.9℃ | 57.4ℓ/分 | 76.8℃ | 177.7ℓ/分 |
| 伊豆山地区 | 106井 | 65井 | 515ℓ | 60.4℃ | 62.8ℓ/分 | 79.3℃ | 285.7ℓ/分 |
| 熱海市総計 | 544井 | 284井 | 485ℓ | 62.3℃ | 64.1ℓ/分 | — | — |

JR熱海駅前

足湯「家康の湯」



足湯の効果は手軽に身体を温められることです。局所で温められた血液が全身を循環し、深部体温が上昇するのです。全身浴や半身浴が難しい場合、かぜをひいた時、疲労困憊時などには有効です。また、冷え性の人や肩こり、神経痛、関節痛、筋肉痛、生理痛などにも効果があります。最近では慢性心不全に対して温水浴やサウナ浴による温熱性血管拡張療法の有用性が報告されているので、そのような患者には特に有効です。時間は10分～20分程度で、ときどき少し熱めの湯を足すとより効果的です。(日本醫事新報より)



プロフィール

- 完成年月日 平成15年12月10日完成披露。家康来熱400年記念事業として整備され、熱海温泉組合より熱海市へ寄贈。
- 料金 無料(同時に10人～15人の利用が可能)
- 利用時間 午前9時～午後4時
- 利用源泉 熱海134号泉
- 温泉利用許可番号 熱保衛第159-3号70 平成15年12月19日
- 泉質 ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩温泉(低張性・弱アルカリ性・高温泉)
- 浴用の適応症 きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、動脈硬化症、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進(平成15年9月17日・財団法人静岡県生活科学検査センター分析済)
- 特徴 ①間歇泉及び足湯には100%本物の温泉を供給。間歇泉の噴出は、実際の自噴泉と同様のリアリティーを追求しました。
②午後4時以降に足湯部分のお湯を全て抜き、毎翌朝掃除するので清潔。新湯を再び利用開始する「掛け流し」足湯です。
③足湯部分の床には足裏刺激が楽しめる小石を貼り付けてあり、歩行浴も体験できます。
- 問い合わせ 熱海市役所みどり農水課 0557-86-6218・6219

こちらの大招布は、 熱海立ち寄り温泉 の統一サインです。

この大招布が掲示されている施設では、立ち寄り温泉がご利用できます。徳川家康公をはじめ、多くの著名人に愛された熱海の良質温泉を満喫して下さい。(家康来熱400年委員会協力)



※料金・時間等は直接施設へお尋ね下さい。

熱海「温ジェルジェ」を見かけたら……
気軽に話しかけてみて下さい。熱海の温泉が大好きな人ばかりなので、しばらく温泉自慢につき合う羽目になるかもしれません。温泉のことばかりでなく、お土産や熱海・伊豆山などの観光名所についても教えてくれるはずですよ。

——温ジェルジェを医学的見知などからサポートする——



熱海温泉鉱泉の分類(温泉療養の指針)

| 泉温の分類 | 高温泉(42℃以上) | 約88% |
|----------------------|-------------------|------|
| 温泉水(34℃以上42℃未満) | 約6% | |
| 低温泉(25℃以上34℃未満) | 約6% | |
| 低鉱泉(25℃未満) | なし | |
| 液性の分類 | 酸性(PH3未満) | なし |
| 弱酸性(PH3以上6未満) | なし | |
| 中性(PH6以上7.5未満) | 約15% | |
| 弱アルカリ性(PH7.5以上8.5未満) | 約78% | |
| アルカリ性(PH8.5以上) | 約7% | |
| 浸透圧の分類 | 低張性(溶存物質1kg中8g以下) | 約11% |
| // 1g以下 | 約45% | |
| // 1g以上4g未満 | 約17% | |
| // 4g以上8g未満 | 約8% | |
| 等張性(8g以上10g未満) | 約19% | |
| 高張性(10g以上) | なし | |

表中の%は平成3年以降分析済218源泉(伊豆山温泉組合含まず)より算出

熱海温泉の歴史

徳川家康のお気に入り温泉

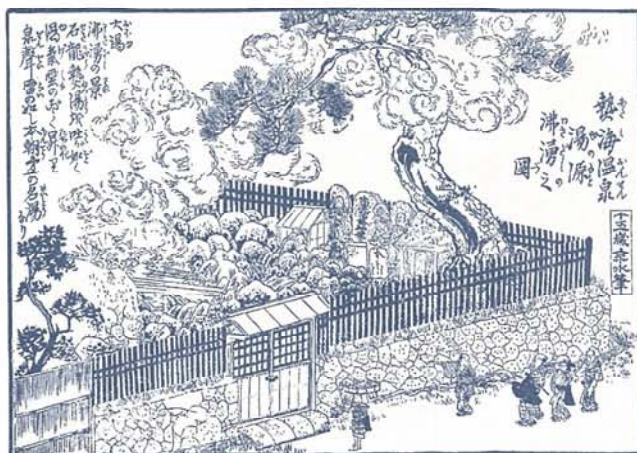
熱海温泉の起源は、今からおよそ1250年前の天平宝字(755~765年)頃、箱根権現の万巻上人が、海中に湧く熱湯によって魚類が焼け死に、甚大な被害を被っていた漁民たちを助けようと志し、祈願によって泉脈を海中から山里へ移したと伝承されています。このことは山東庵京山の書いた「熱海温泉由来」(1830年)にも記述があります。

熱海温泉を愛した著名人で、最も熱海の発展に寄与した一人が徳川幕府初代将軍・徳川家康公です。慶長9(1604)年3月、家康公は義直、頼宣の2人の子供を連れて、7日間熱海に逗留(東照公記等)し、同年9月、京都で病氣療養中の吉川広家(周防・現在の山口県)の見舞いとして熱海のお湯を運ばせました。当時、すでに全国レベルの名湯と知られ、より京都に近い「有馬の湯」ではなく、「熱海の湯」を運ばせたところに、家康公がいかに熱海温泉を気に入ったかが窺い知れます。

この元祖「温泉宅配便」は後に「御汲湯」として歴代徳川将軍に継承され、4代将軍家綱公の時(1667年)、大湯の温泉を真新しい檜の湯樽に汲み、それを頑強な男数人に担がせ江戸城まで運ばせるようになりました。ちなみに同じく「御汲湯」の歴史がある群馬県・草津温泉は8代将軍吉宗になってからです。

現在でも約90℃と非常に高温の大湯ですが、江戸城に着く頃、湯樽の温泉はちょうどいい湯加減を保っていたそうですから、担ぎ手の健脚ぶりは驚きです。記録では昼夜兼行で15時間、その風景から「熱海よいとこ日の丸たてて 御本丸へとお湯が行く」という唄が生まれました。その後、湯樽は船で運ばれるようになり、8代将軍吉宗公の時が最も盛んで、享保11年から19年までには3640樽送ったと伝えられています。

また、家康公が熱海を幕府の直轄領としたことで土地の治安・風紀が守られ、各地の大名、明治以降も時の要人、軍人、文化人などが頻りに熱海を訪れ、しばしば歴史的会談なども行なわれるようになりました。その伝統は平成13年の日韓首脳会議開催などに受け継がれています。



熱海で始まった 近代温泉地の歴史

- ・温泉分析：明治7年(1874年)
※草津、伊香保、四万温泉は明治8年
- ・温泉に関する取締規則の制定：明治16年
6月発布
- ・温泉療養センターの設立：明治18年※1
- ・御用邸の建設：明治21年※2

※1 わが国の国立温泉療養センター「^{きゅうきん}嶺瀧館」は、明治政府の重鎮、右大臣岩倉具視の病氣療養の為に後藤新平、井上馨、長与専斎らが決定し、大湯の隣に建設されました。その後、熱海は歓楽型温泉観光地として発展したので、日本初の温泉療養センターが熱海にできたことは案外知られていません。しかしこの事実は、熱海温泉の泉質の良さを証明する証といっても良いでしょう。

※2 明治時代、新政府になって初めての御用邸が熱海に建設されたことは、温泉だけでなく、熱海が観光保養地として素晴らしい環境にあることを物語っています。

熱海に湧出する温泉の泉質、および適応症と禁忌症

熱海市街地、上多賀地区、下多賀地区、網代温泉、泉地区、初島

| 泉質 | 泉質(細分) | 適応症(浴用) | 禁忌症 |
|------------------|--|--|--|
| 塩化物温泉 (67.2%) | ナトリウム・カルシウム—塩化物温泉(29.4%) ナトリウム—塩化物強塩温泉(0.5%) ナトリウム—塩化物温泉(0.5%) ナトリウム・カルシウム—塩化物強塩温泉(0.5%) カルシウム—塩化物温泉(0.5%) カルシウム・ナトリウム—塩化物温泉(24%) | 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病 | 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期) |
| | ナトリウム・カルシウム—塩化物・硫酸塩温泉(2%) カルシウム・ナトリウム—塩化物・硫酸塩温泉(0.5%) | 上記の適応症に加え、動脈硬化症 | |
| 硫酸塩温泉 (22.5%) | カルシウム—硫酸塩温泉(2.5%) カルシウム・ナトリウム—硫酸塩温泉(2.5%) ナトリウム・カルシウム—硫酸塩温泉(0.5%) | 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病 | 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期) |
| | カルシウム・ナトリウム—硫酸塩・塩化物温泉(16.1%) ナトリウム・カルシウム—硫酸塩・塩化物温泉(1%) | 上記の適応症に加え、虚弱児童、慢性婦人病 | |
| 単純温泉 (10.3%) | 単純温泉(6.3%) アルカリ性単純温泉(3.9%) | 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進 | 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期) |
| | | | |

※表中の%は平成元年以降、温泉分析実施204井(伊豆山温泉分含まず)を参考としました

熱海の標準的な源泉は、温泉湧出口等での視覚的試験で、ほとんど無色、透明、弱塩味、微苦味、無臭というものですが、それ以外でもこんな温泉が湧出しています。

| 温泉の色 | | 温泉の匂い | | 地区 | PH(平均) | 成分総量(平均) |
|--------|-----------|-------------|-----------|-------|--------|----------|
| 微黄色 | 熱海196号泉など | 微硫化水素臭(硫黄臭) | 泉32号泉など | 熱海市街地 | 7.98 | 5.19g/kg |
| 微白濁 | 熱海381号泉など | 微泥炭臭 | 熱海259号泉など | 上多賀地区 | 8.3 | 12.84 |
| 微混弱黄褐色 | 熱海175号泉など | 温泉の味 | | 下多賀地区 | 8.38 | 5.89 |
| 弱灰白黄色 | 熱海89号泉など | 微金気味 | 熱海315号泉など | 網代地区 | 7.12 | 15.68 |
| 弱黄褐色 | 上多賀15号泉など | 強塩辛味 | 網代13号泉など | 泉地区 | 8.24 | 0.95 |